

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

広島県 安芸高田市

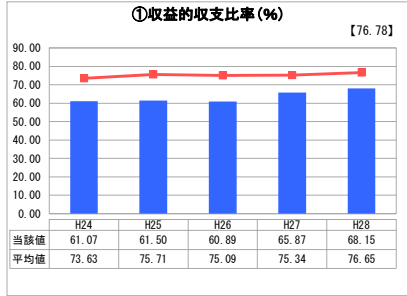
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	31.11	3,207	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,773	537.75	55.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,178	56.46	162.56

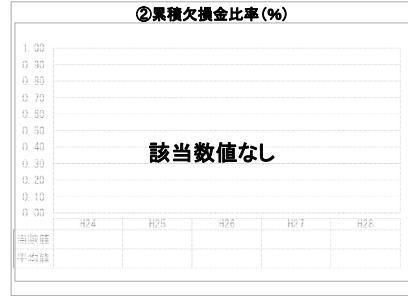
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



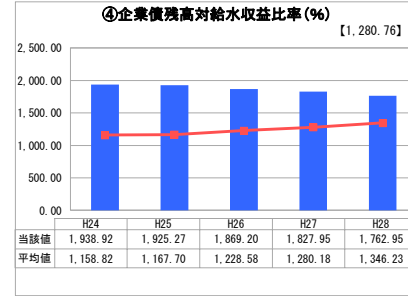
「単年度の収支」



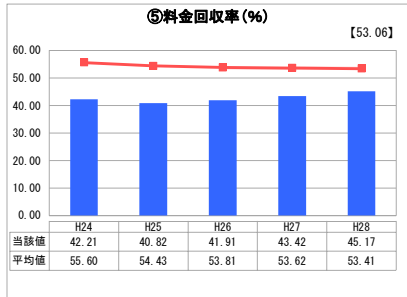
「累積欠損」



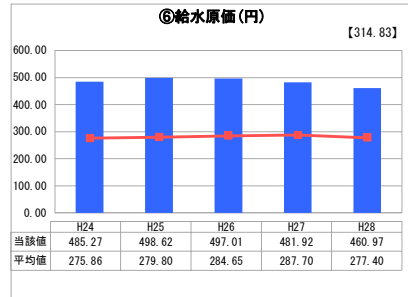
「支払能力」



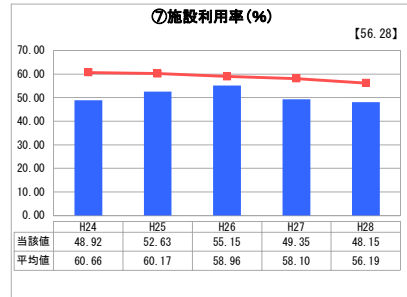
「債務残高」



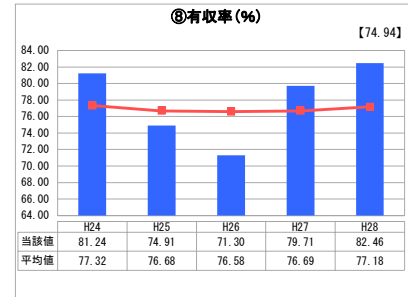
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

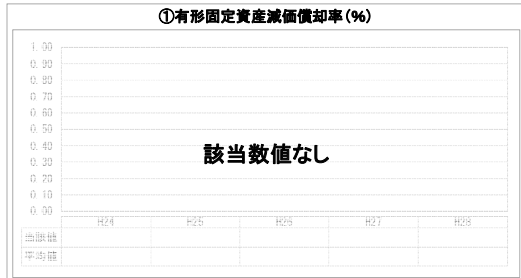


「施設の効率性」

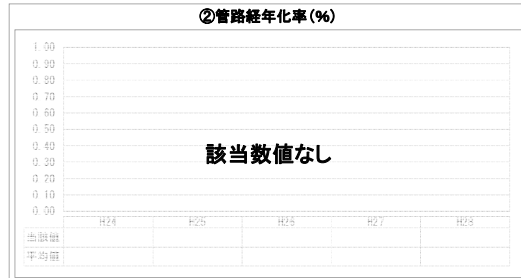


「供給した配水量の効率性」

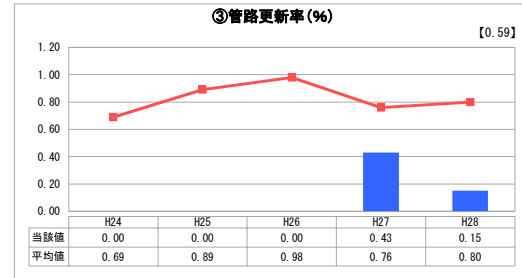
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は60%台で推移している。平成29年度の統合により水道事業と合わせた経営改善を図っていく必要がある。  
 ②企業債残高対給水収益比率は50年間に及ぶ建設改良に伴い、類似団体平均値、全国平均より高い傾向である。  
 ③料金回収率は100%を下回っている。繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填している状況なので、料金改定による料金収入の確保が求められる。  
 ④給水原価は類似団体平均値、全国平均より高い傾向である。平成29年度の統合により水道事業と合わせた経営改善を図っていく必要がある。  
 ⑤施設利用率は類似団体平均値、全国平均より低い傾向である。平成29年度の統合により水道事業と合わせた施設の統合・ダウンサイジング等の検討を行う必要がある。  
 ⑥有収率はここ3年で上昇傾向にあり、類似団体平均値、全国平均より数値は上回っている。漏水調査・修理を実施し更なる有収率向上に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率は類似団体平均値、全国平均を下回っているが、昭和36年度に供用開始した本市の簡易水道事業はこれまで定期的に管路更新を実施しており、現在法定超過管路はない。今後は長期的展望を再考した安芸高田市水道ビジョンを策定し、計画的かつ効率的な更新を実施していく必要がある。

## 全体総括

平成28年度に策定した経営戦略に基づき、経営の健全性と効率性を高めるため、料金改定による料金収入の確保をすとも計画的な施設の更新と維持管理を実施していく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。